

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【公開番号】特開 2011-7169 (P2011-7169A)
 【公開日】平成 23 年 1 月 13 日 (2011.1.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-002
 【出願番号】特願 2009-169475 (P2009-169475)
 【国際特許分類】

F 0 3 D 3/04 (2006.01)

F 0 3 D 3/06 (2006.01)

【 F I 】

F 0 3 D 3/04 B

F 0 3 D 3/06 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

間隔を保って互いに対向して配置された水平誘導板、同水平誘導板の間の中心部に回転軸が配置されて同回転軸に羽根部が取付けられた回転翼部、同回転翼部の外周側の前記水平誘導板の間に前記回転軸の軸芯から偏芯させて放射状に配置した垂直誘導板から構成され、前記羽根部は回転移動方向と反対側に気流を取り込む空洞を具備する事を特徴とする風力発電装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の風力発電装置において、前記水平誘導板の間に気流の出入り口を形成する双方向性垂直誘導壁を配置した事を特徴とする風力発電装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 記載の風力発電装置において、前記水平誘導板の間の中心部で、前記回転翼部が位置する部分の該水平誘導板を円状に切り抜き、同切り抜き部分に、該回転翼部を取付け、又は、取外しが出来る構造である事を特徴とする風力発電装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか記載の風力発電装置において、前記水平誘導板が 3 枚以上配置されて前記間隔が多段形成された事を特徴とする風力発電装置。